

---

# PURSUER

六花 霞螢

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

P U R S U E R

### 【Nコード】

N 6 5 3 0 M

### 【作者名】

六花 霞螢

### 【あらすじ】

各話完結の二百文字小説置き場。

## 享受

触れた温もりが、不満を吐こうと開かれた口を塞ぐ。

それを至福の時と思わぬよう、流されまいと抗っているのは、ただ、認めて欲しいだけ。

私だって。

繰り返し浮かぶ文句は、いつだってそこで途切れてしまう。君はずるい。何も聞かないで、只管与えるだけなんて。

私は、何も貰えなくなつて構わないのに。君が受け止めてくれるだけで、これ以上なく幸せなのに。

せめて、離れていく温もりを追うくらい、させてくれたっていいでしょう。

## 少年

こちらに背を向けて、海に沈む夕陽を眺めている少年。岬に立っている灯台に手を置いて、その少年はただ海を見つめている。灯台からは細く黄みがかつた光が伸びている。夕暮れの海辺の、空も海も、草木も、何もかも、空気さえ赤に染められた景色の中で、その少年と光だけが自らの色を侵されずにそこに在った。

その光景に僕は見蕩れた。

点のみで構成された、その幻想的な世界に。

僕の二次元との語らいは、その瞬間から始まったんだ。

汗

……カタンツ。

暗闇の中、何かが落ちるような、小さな音がした。

「ひゃあっ」

堪えきれず小さい悲鳴を漏らした咲季に、一緒にろうそくを囲んでいた者たちが楽しそうに笑う。

「大丈夫だつてば、咲季」

隣に座っていた友人は、咲季を笑って慰めると、百本あった蠟燭のうちの、最後の一本となってしまうた火をそつと吹き消した。

一瞬にして部屋が闇に包まれて、咲季の背筋を冷や汗が流れる。

そして、次に灯が付いたとき、そこは……

## 断末魔

馬鹿だった。

もう、他人には何も求めないと決めていた筈なのに。一体何故、私は今こんなにも絶望しているのだろう。どんなに切に望もうと、話の中に出てくるような都合のいい人間がいないことくらい、疾うに理解していたというのに。

絶望の縁から絞り出されたSOSは、乾いた涙と共に、誰にも気付かれること無く塵に埋もれた。

目の前に次々と表示されていく音の羅列に、私はこれきりで最後となる文字を打ち込んだ。

バイバイ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6530m/>

---

PURSUER

2011年10月6日17時45分発行